

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

スーパー救急病棟における統合失調症薬物療法：抗精神病薬単剤治療患者と多剤治療患者の比較

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院精神科救急病棟に入院された患者さんの診療録を用います。

2. 研究目的・方法

昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンターは、総合病院の中に精神科救急入院料算定病棟（スーパー救急病棟）を有し、全国的にも珍しい精神科病棟です。2016年に初版、2022年に第2版が刊行された統合失調症薬物治療ガイドラインにおいては、統合失調症薬物治療において、原則的には抗精神病薬の単剤治療を推奨しています。海外の知見を概観しても、多剤併用を支持する報告は少なく、抗精神病薬以外の向精神薬についても十分なエビデンスがないこと、副作用が増加することなどの理由から、併用については否定的な意見が多くなっています。しかし実臨床においては単剤治療のみで寛解に至らず、複数の抗精神病薬を併用するケースは一定数存在します。統合失調症は再発再燃により治療反応性が低下することが知られており、米国でも抗精神病薬の併用率は7-50%、中央値は20%であったと報告されています。今回我々は、2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院の精神科救急入院料算定病棟（スーパー救急病棟）に入院した統合失調症の患者さんのうち、最終処方において抗精神病薬が投与されている患者さんについて、最終処方が抗精神病薬単剤である患者さんと多剤である患者さんの2群に分け、患者背景や治療について比較検討を行います。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2022年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学附属烏山病院のスーパー救急病棟に入院した患者さんの診療録から、以下の情報を抽出します。

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 生活状況（単身生活か否か）
- ・ 障害年金受給
- ・ 生活保護受給
- ・ 飲酒歴
- ・ 喫煙歴
- ・ 診断名
- ・ （精神科での）罹病期間
- ・ （精神科での）通院期間
- ・ 入院回数
- ・ 精神保健福祉法における入院時形態
- ・ 精神保健福祉法における退院時形態
- ・ 精神科救急病棟の在棟日数
- ・ 隔離施行
- ・ 拘束施行
- ・ 入院時、退院時の重症度（CGI）
- ・ 身体的合併症
- ・ 初回投与、最終投与の向精神薬、抗パーキンソン薬の種類、量

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

氏名：山田 浩樹

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター 山田 浩樹